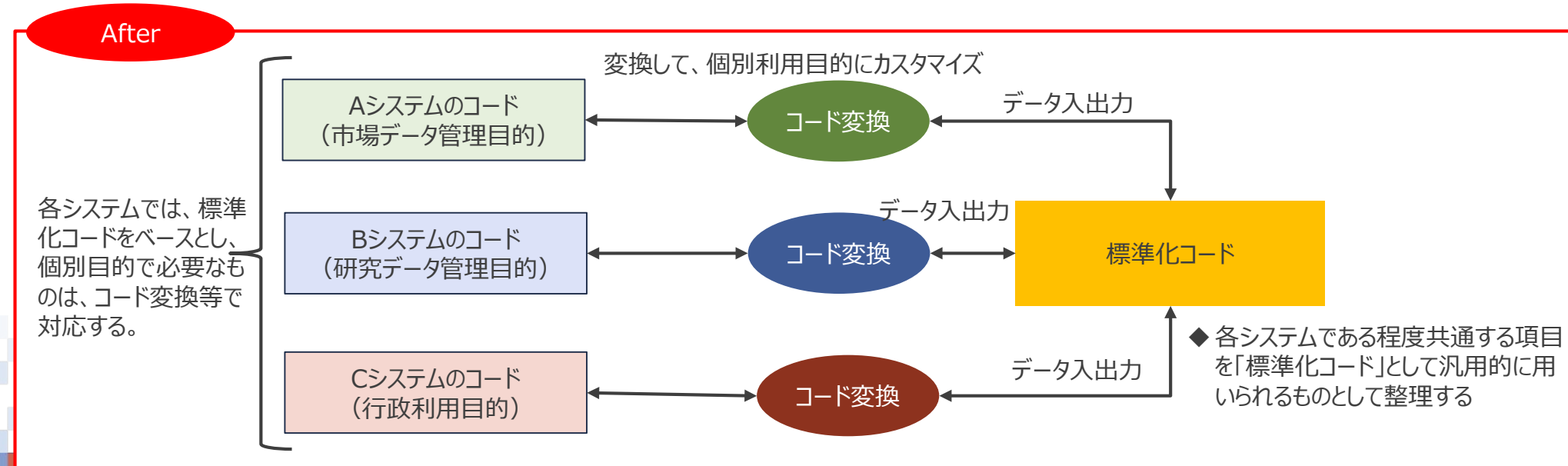
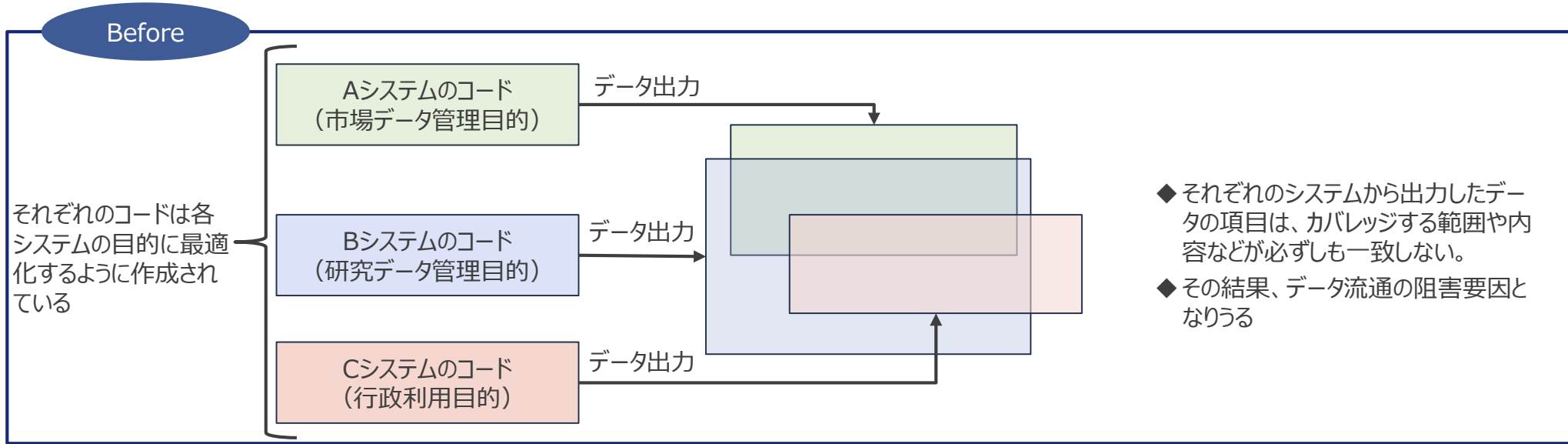


## コード体系の整理に関する議論のためのコンセプトの整理

2020年10月14日  
株式会社NTTデータ経営研究所

# コードの標準化により想定されるスキーム



# コード体系の整理に関する議論のためのコンセプトの整理

## 現状あるコード体系 と問題

- 各コードがそれぞれの目的で作られているので、流用するのは問題がある
- Frescoコード（水産、漁業関連コード、環境系の観測コードも含む、歴史がある）
- TACコード（Frescoコードとの互換性を考えて作られた。機関コードなどは新設計）
- 水揚げDBコード（2019年製、魚種コードのみ、Frescoコードと水産物コードのハイブリッド、ただし資源評価向けに作られている）
- 水産物流通コード 等々

## 新しいコード体系の 設計思想

- 漁業現場、荷受けする市場、水産物流通、商品と、生産から消費までをトータルでカバーできるコードが今回求められている。
- 新規参入のあらゆる業者が、このコードならすべて網羅できる、というのが理想。
- FrescoやTACのコードの双方向変換機能を実現する。新しいスマート水産業標準コードは、すべてに汎用的に対応できるものとする

## 検討すべきコードの 抽出、ゴール設定

- 必要なコード体系として魚種コード、銘柄コード、漁法コード、漁業種類コード、単位コード、数量換算コード、状態コード、様々なものが想定される
- 生産市場、消費地市場、加工事業者、スーパー等小売りなどがどういうオブジェクトを使っているかまで、網羅する必要がある。

## 実際にコードの設計

- これは専門家を入れてやるべき。分類学にのっとったコードか、水産物流通コードか、コード設計には色々な思惑が関係してくる。
- また、拡張性の高いものにするのが必須。
- 各コードとの読み替えが確実にできるものとする

今年度はこの部分を  
中心に検討

今年度は対応方針  
を中心に検討



# NTT DATA

Trusted Global Innovator